



発行所
安芸郡芸西村
芸西病院
TEL 0887(33)3833

発行責任者
岩村 久
<http://okura-kai.com/geisei/>



新年のごあいさつ

医療法人おくら会 理事長

藤戸良輔



新年明けましておめでとう
ございます。今年も皆様にと
って健やかで実り多い年であ
りますよう祈念いたします。

昨年をふりかえりますと、
新型コロナウイルス感染症の
流行が最大のニュースであつ
たと思います。新型コロナウイルス
イルス感染症に罹患された
方々とそのご家族、関係者の
皆様にお見舞い申し上げます。
また、亡くなられた方々
のご冥福を心よりお祈り申し
上げます。全世界が感染症の
危険にさらされ、都市封鎖(ロ
ックダウン)や入国制限、さ
らには東京オリンピック延期
など、これまで経験したこと

のない事態に陥り、大きな社
会・経済的影響を及ぼしまし
た。経済活動と感染拡大防止
の両立を目指した世界各国は
いろいろ対応を講じるも、な
かなかうまく行かず、多くの国
が経済活動を再開した結果、
全世界の感染者数は再び指数
関数的な伸びを示していま
す。新型コロナウイルス対策と
して当院を利用される皆様に
おかれましては、引き続き手
指消毒・検温・マスク着用のご
協力をお願い申し上げます。

また、今年には東日本大震災
から10年の節目を迎えます。

2010年3月11日14時46分
に起こったマグニチュード9.0
の地震により死者・行方不明
者合わせて2万人以上の方が
犠牲となりました。そして現
在ユーラシアプレート上で直
下型地震が頻発しています。
南海トラフ地震の発生につい

て「いつ頃起こるか?」「被
害はどの程度か?」と専門家
が様々な警鐘を鳴らしていま
す。地震対策にかかわる防災
訓練の実施を引き続き行い、
防災意識を高めることで、皆
様が安心して病院を利用でき
るよう努めてまいります。


さて、2021年は丑年で
す。「牛」は古くから酪農や
農業で人間を助けてくれた大
切な動物で、大変な農作業を
最後まで手伝ってくれる働き
ぶりから、丑年は「我慢(耐
える)」、「これから発展する
前触れ(芽が出る)」という
ような年になるといわれてい
ます。コロナに耐えた202
0年から、新しい芽が出てよ
り良い2021年にしていき
たいところです。

本年も医療の質とサービス
の向上につとめ、利用される


皆様が安心して過ごせるよう
職員一同取り組んでまいりま
す。今後ともより一層のご協
力のご支援をたまわりますよ
うお願い申し上げます。



**芸西病院だよりが
インターネットでも
読めるようになりました。**



当院のホームページ内に、新しく「芸西病院だより」のページを設置いたしました。WEBでも芸西病院だよりをお楽しみください。



外来診察担当医 令和2年7月1日～

内科	月		火		水		木		金		土	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
山崎(第1)	岩崎(第3)	山崎	八木	清藤(第1-3)	山崎	八木	大西(第1)	山崎	山崎	山崎	麻生	休診
	八木(第2-4-5)	山崎	八木	八木(第2-4-5)	山崎	八木	八木(第2-5)	山崎	山崎	山崎	麻生	休診
精神科	野瀬	岩村	岩村	藤戸良輔	野瀬	三宅	西本	交代制(第1-3-5)	交代制(第1-3-5)	交代制(第1-3-5)	村上(第2)	休診
	野瀬	岩村	岩村	藤戸良輔	野瀬	三宅	西本	交代制(第1-3-5)	交代制(第1-3-5)	交代制(第1-3-5)	村上(第2)	休診

芸西病院



2021年が幕を開けました。今年の干支は「丑」。労働や食事を支える動物として昔から身近な存在です。丑年生まれさんたちの傾向とは：

- ① 堅実でコツコツ努力の 大器晩成型
- ② 負けず嫌い
- ③ マイペース
- ④ 計画的でお金が 貯まりやすい
- ⑤ 誠実で引つ込み思案
- ⑥ ちよっぴり頑固
- ⑦ 行動はじっくりゆっくり

忍耐強さや我慢強さを持ち、目標達成のためにコツコツ努力できる性格のため、簡単に弱音を吐いたり諦めたりすることはありません。自分で決めたことはきちんとやり通す粘り強さで最後には大きな目標を達成します。派手なことを好まず控えめ、静かで穏やかな笑みを絶やしません。

でもそんなマイペースな中に秘めた負けず嫌いも1倍、大器晩成タイプです。丁寧な生き方を好むためにギャンブルに手を出すことも無く、お金が貯まりやすい干支だと言われています。自分と親しい人たちが大事にしたい気持ちが強くと、慈愛にあふれた性格の持ち主です。

そんな丑年生まれ、当法人にはこんなに沢山いるんです！年齢も24歳から72歳までと5つの年代が勢ぞろい、当院での勤務年数が長い方も多く「誠実に粘り強く」はなるほどと思うところです。

2021年を迎え「うちんくの丑年さん」達に「新年の抱負・新しい年にやってみたいことや目標」を聞いてみました。え、恥ずかしい…：そんなハニカミ笑顔もモチロン、丑年さんのチャームポイントです！



1階内科病棟・A病棟



●1階内科主任

看護師 **安岡 杏奈**

「2021年は、色々なことにチャレンジして、たくさん経験して、たくさん学ぶ年にしたいです！今年もよろしくお願いします！」

●A棟看護師長

看護師 **能津 賀陽子**

「今年も変わることなく、GIST(消化管間質腫瘍)の患者会、およびがん・肉腫の患者支援活動と高知リレー・フォー・ライフでの患者支援に

尽力し、手伝ってくれる家族と友人に感謝を届けたいです」

●A棟

介護福祉士 **和田 徳夫**

「2020年はコロナの為に旅行に行けませんでしたが、2021年の夏は毎年行っている沖縄や石垣島に行きたいですね。1日も早くコロナが終息することを願います」

2B病棟



●准看護師

岡林 茂克

「2021年は健康で過ごせるように、休みの日はジョギングをして1週間に1回「休肝日」を作っていきたいと思っています」

●看護師

公文 愛子

「仕事面では先輩方よりも早く動いて支えられるように頑張りたいです。また自分のスキルアップのために入職時から1日2〜3時間勉強することを今後も続けていき、少しずつ実践につなげていけたらと思います。プライベート面では趣味のバイクで様々な場所へ行き、いろんな方たちと交流して思い出が作れたらいいなと思います。コロナが落ち着くことを願っています」

3B病棟



●看護師

豊田 結香

「つげ1日1日を大切に過ごしていきたいと思っています。やってみたいことは1人暮らしを4月までに始めること。コロナが落ち着いたら旅行にも行きたいです」



リハビリ



●身障作業療法室主任…

作業療法士 足達賢祐

「仕事のほうはしっかりと後進育成、業務の効率化に取り組んでいきたいと思っています。プライベートでは今年も庭作りをやってみたいと考えています」

●精神科作業療法室…

作業療法士 宇田知代

「昨年は、行きたい場所や会いたい人、やりたい事のほとんどをあげられました。今年もは叶うなら北アルプスに登りたい。いつもは石鎚山系に登っていますがそろそろ遠征してリフレッシュしたいです」

●身障作業療法室…

作業療法士 粟林 瞳

「ずっと習いたかったヨガに

通いたいと思います」

●老健機能訓練室…

理学療法士 橋本玉姫

「うんどう（運動）をしてしぼう（脂肪）を減らし、どんだん痩せて しゅっとした体型を目指します！ 皆様にとってモウっつと良い年になりますように！」

栄養科



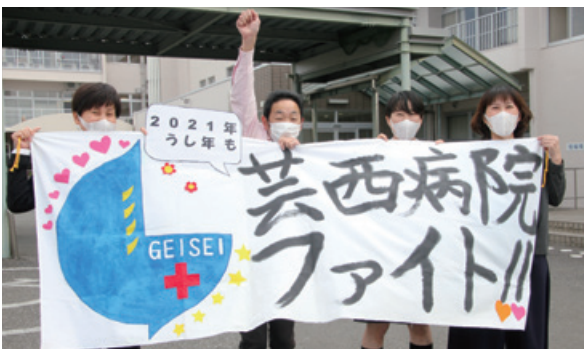
●栄養科主任…

管理栄養士 近藤恵子

「そろそろ“健康”を気遣う年頃になりました。仕事をするにも休日を楽しく過ごすにも健康であることが一番！今年も山登りにチャレンジしようかな」

●管理栄養士 濱口千帆

「孫の出来る年頃になりました」



事務部・相談室

た。「おばあちゃんのお寿司はおいしい」と言われるように土佐の寿司（姿寿司や昆布寿司など）に挑戦したいと思っています」

●栄養士 近藤 歩

「家の片づけと断捨離したいです」

●調理師 高橋美穂

「2021年には新型コロナウイルスで行けなかった友達との旅行や食事に行きたい。その為にも感染予防に気をつけたいと、ですね。健康第一！」

●調理員 大野みどり

「コロナが終息できたら、家族旅行に行つて楽しみたいです」

●経理課長 山本ゆか

「ちいさなHappyに感謝しながら、幸せに生きる」

●経理課 小松知佐

「コロナが落ち着いたら、旅行に行きたいです」

●医事課主任 有澤智佐

「近年、私の身体は重力に従ってブルドック状態。ハスキー犬は賢沢…：な話ですが、少しでもという気持ちで、先ずはウォーキングから!!」

●相談室…

ソーシャルワーカー 栗坂晋治

「早くコロナが終息してオンラインオールスターズのライブに行きたい。吹奏楽の演奏会も出たいです！」

老人保健施設やわらぎ



●看護師長 野村裕子

「家の中のものはもちろん、心身ともに断捨離したい…。なかなか捨てられないです」

●看護師長 山崎裕美

「体調を整えて、元気に生活できるように気をつける。ペットのウサギで癒されつつ頑張りしたいと思います」

●1階療養部…

介護福祉士 信清香菜

「時間を大切にし、プライベートを充実させる」

●老健相談室…

支援相談員 鍵山直輝

「新型コロナウイルスの影響で県外に行けなくなっているのが高知県内でキャンプをしたいと思っています。県内には多くのキャンプ場があるので道具をそろえて楽しみたいと思っています」

●洗濯室 尾城加代子

「職員の皆様の協力で今まで働かせていただきました。今年も老体にムチ打って、もう少し頑張ってみようと思っています」



精神科デイケア秋の活動報告

精神科デイケア 公認心理師 石丸 茂偉

院内喫茶慰労会

院内喫茶はデイケアのメンバーと一緒に協働しながら一人ひとりが自分のできる役割を果たすことを学ぶプログラムとして13年目を迎え、院内の皆さんとの交流の場としてもすっかり定着しています。10月はメンバーさんが最も楽しみにしている『喫茶慰労会』の時期。ただ「今年は慰労会できるだろうか」「買ってきた物でも良いからデイの部屋で(慰労会を)やりたい」等、コロナ禍で開催そのものに不安の声が聞かれています。10月28日(水)晴天の中、高知市内に外出してきました。



(国推奨の「マスク会食」とまではいきませんが静かな会食、食前食後はマスク着用を心掛けました)



(ぶりぶりの刺身に皆さんご満悦!)

まずは胃袋を満たしに新鮮な魚が売りのレストランでランチを堪能！運ばれてきた御膳の豪華さに一同感激する中、メンバーさんからは「店員さんのお客さんを迎える心意気が料理を一層引き立てた」との発言があり、職業病？ではありませんが、他施設の接客の研修としての目的もすっかり果たしました。

食事を終えると、メンバーさんの多くから希望の声が聞かれた桂浜へ：「日帰りではありませんが、非日常的な旅気分は気持ちを少し大きくさせたか、ついつい財布の紐がゆるくなる人。小学2年の遠足以来の桂浜の景色を一人静かに眺め、懐かしさに浸る人：：そんな中、土佐犬に想いを馳せ、童心に帰ったかのようにお土産屋の店員さんに聞きまわることができました。そこまでこだわった理由を聞いてみると、子どもの頃、母親と一緒にバスを乗り継ぎやつと辿り着いた憧れの桂浜だったそうです。その時は諸事情で闘犬を見ることは出来なかつたそうです。ただ周知の通り闘犬センターは3年程前に閉店、メンバーさんの土佐犬への想いは今回も叶わず：：残念そうな表情が何とも印象的でしたが、後日「観光客もまばらで、今回「土佐犬はもうどこか行ったよ」とお店の人に言われた。自分も年齢をとって桂浜も年齢を取ったけど、そこで接した人の温かさや景色は以前そのまま立派でした。今度、お金に余裕のある時に一人でバスを乗り継いで桂浜と戯れたい」と変わらぬ桂浜への想いを聞くことが出来ました。



(撮影時のみマスクを外してもらいました)



の慰労会、細心の注意を払うことでメンバーさんには色々不便を感じさせてしまうこともあったかと思えますが、帰りの車内で、足の筋力などが落ちていたことを実感するメンバーさんから「今日はありがとう。来れてよかった。これからも無理せず頑張りた」と少し涙ぐみながら話される姿を見ることが出来たことが私自身にとって何よりの「慰労」となりました。皆さんの協力のもと、今年も行けて良かったです。また1年活動を頑張っていきたいと思います。

リレーエッセイ No.64 「はじめまして」

外来 看護師 松本 ちあき

9月の末から外来看護師として勤務させていただいています。先日息子が2歳になりました。私の就職とともに病院の託児所に入所しています。最初は泣いてばかりでしたが、優しいお友達と先生に囲まれて今では私との毎朝の別れを惜しむことなく「ニコニコ」と託児所に入っていきます。息子は食べるのが好きで、特に魚が好きです。大人1人分ペロリと食べてしまい、私のおかずが取られることもしばしばです。野菜は苦手で「イヤイヤ」と断固拒否します。それでも体はおつきずきるくらいに育ってくれています。

最近魔のイヤイヤ期に突入して、まだ言葉をはっきり言うことはなかなかできない中で「イヤ」と言う言葉だけははっきり言うてきます。自己主張がより増してきて大変ですが、色々なことに興味を持ちトライしようとするこが増えたので、子どもの成長は早いと日々感じています。

私も看護師として早く成長できるように頑張りますので、よろしくお願ひします。



除細動器の勉強会に参加しました

1階内科病棟 看護師 服部 美咲



11月初めに日本光電の橋本様に来て頂き、除細動器の安全管理・使用方法について講習がありました。まず除細動器とはどのようなタイミングで使用するのか、早期除細動の重要性について教えて頂きました。除細動器(電気ショック)の成功率は1分毎に7〜10%低下することが知られており、出来るだけ早く行うことが対象者の生命を左右することになるそうです。除細動までの目標時間は院内だと3分、院外だと5分以内にと言われているそうです。芸西病院では医師が使用する除細動器が内科病棟に一台、除細動の必要性を機械が判断してくれる一般の方でも使用することができるAEDが外来廊下(心理室の隣)に1台設置されています。院内での除細

動目標時間が3分と言われていることから、院内職員は除細動器、AEDの場所の把握と使用方法をきちんと理解し、必要時はすぐに準備、除細動が行えるようにしておかなければならないと改めて思いました。また必要時に正確に使用できるよう日々の点検も大切であると学びました。



以前県外を旅行中、目の前でお爺さんが意識消失で倒れたことがありました。すぐに駆けつけたのですがAEDの場所がわからず探すのにかなりの時間を要しました。幸い意識が戻ったためAEDは使用しませんでした。何が起るかわからないことや、医療従事者でなくてもこのような場面に遭遇することがあると意識し自分が学んだことを職員同士や友人などに教えてあげることも大切だと思います。

第4回

「冬の一冊」ライオンのおやつ

芸西病院 元職員 角谷 由美子



『ライオンのおやつ』

著者：小川 糸

発行：2019年 ポプラ社



毎朝、布団から出るのに勇気のいる季節となりました。皆さん、いかがお過ごしでしょうか？今回ご紹介する小説の舞台は、瀬戸内の小さな島にあるホスピスです。「レモン島」と呼ばれるこの島に、ホスピス「ライオンの家」があります。主人公の雫さんは33歳、独身女性です。雫さんは癌と闘い、化学療法も行いましたが、効果は得られませんでした。一体、何の為の闘病だったのか、何の為の人生だったのか……。「人生の最期くらい、誰にも気兼ねせず、ひとりの時間を過ごして逝きたい」、「海を見ながらゆっくり休みたい」という想いから、雫さんは「ライオンの家」を

ライオンの家の代表は、看護師とカウンセラーの資格を有し、入居者の方々の心身を冷静に温かく見守っているマドンナです。彼女の慈愛に包まれて、雫さんをはじめ、入居者達は救われていきます。ライオンの家では、毎週日曜日の午後、特別なおやつが用意されています。入居者の誰かの、人生最後に食べたいおやつです。皆さんがもし、リクエストを書くことができるとしたら、何のおやつが脳裏に浮かびますか？私は先日、結婚1ヶ月祝いに、家の近所にあるお菓子屋さんで買ってきて夫と食べた、ザッハトルテを食べたいです。雫さんは、死の準備の為に訪れた場所で人生最高の幸せを体感することができるなんて、思ってもみませんでした。自分にも他人にも正直になること、それが幸せへのパスポートでした。けれど、どこかいつも自分に我慢を強いていた雫さんにとって、それは今までなかなか出来ない事でした。彼女はレモン島に来て、

に出会いました。その出会い一つ一つが、彼女の心を解放していきます。もし、ライオンの家が実在するならば、是非そこで働かせていただきたいです。そして、やがてはここで最期を迎えられたら、この上なく幸せだろうなと想像しています。幸せな死の迎え方…そのヒントがこの本には詰まっているように思えます。読後、春の陽だまりの中にあるような温かな気持ちになれる一冊です。春から続いたこの連載も今回が最終回となりました。拙い文章にお付き合いください、今までありがとうございました。私事ではありますが、本ばかり読んでいた私も、結婚して瀬戸内へ移住することになりました。短い間でしたが芸西病院で皆さんと一緒に働かせていただいた、本当にありがとうございました。



やわらぎ通信

リゾートビルやわらぎ
運営理念
その人らしさを尊重し
人と人とのつながりを大切に
明日につながるケアをめざす

「笑門来福」

施設長 中本 雅彦

旧年中は新型コロナウイルスの影響の中、皆様より沢山のご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。新型コロナウイルスの一日も早い収束を願い、皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

さて、新年早々となりますが、ケアの質向上をめざし現在やわらぎにて試験的に取り組んでいる事業を紹介いたします。それは高知県を通じての国（厚労省）のパイロット事業となり介護現場を革新していくことを目的としています。取り組みは二つあり「眠りスキャン（センサーマット）」と「インカム（無線機）」というものです。眠りスキャンは、寝具の下に設置したセンサーで得られた入居者の状態を、パソコンや携帯端末でリアルタイムに確認することができるというものです。例えば夜間、各入居者の睡眠や覚醒状態についてモニターで確認することで、入居者やスタッフにとって安心な見守りとタイムリーな介護がめざせます。またスタッフは効率的に適宜必要なケアを提供することができます。具体的には・・・

★「目が行き届く安心な見守り」すべての居室・ご利用者の「睡眠・覚醒・起き上がり・離床」が一目で分かるので、スタッフの少ない夜間も入居者の状況に合わせた介護・見守りが可能となります。

★「入居者の生活や行動に合わせた介護」目が覚めているときに介護をすることで、介護の優先順位づけ、入居者の安全・安心、良好な睡眠、満足度の向上につながります。

★「スタッフの労働環境の改善」居室での状況が見える化されることで、行動の変化が予測できるようになりスタッフの精神的負担を減らすことが見込めます。モニター画面の一例を紹介します。ベッド上にいる、寝ている、目が覚めている、ベッドから離れている等々、モニターにて特に夜間帯はご利用者の状態が一目で確認できます。

次にインカムですが、これはイヤホンとマイクがセットになった携帯無線機のことです。どこにいても装着している全員とリアルタイムで情報共有ができます。全職種での連携、チームでのかわり強化され、多職種による適時適切なケアの提供につながります。また地震など災害が発生した際にも容易に連絡を取り合うことが可能となり、混乱を防ぎ効率的な避難誘導、救護の実現が期待できます。

どちらも目指すのは職場の業務改善活動を通じて、介護サービスの質を維持・向上させつつ、日々忙しい介護現場の職場環境をより働きやすく変えていくことです。以前紹介させていただいたノーリフトケアもこれらと同様、業務改善の一つとなります。

今年のやわらぎは、ウイズコロナ体制の下、より一層未来を見据えた革新的なケアの取り組みを展開していきます。皆様のご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。



インカム(左) 眠りスキャンモニター画面(右)

やわらぎ1階秋祭り
 介護福祉士 改田祥一

10月14日に1階ホールで秋祭りを開催致しました。祭りのオープニングは職員手作りの神輿が登場し、ご利用者や職員から掛け声も自然とあがり、大変盛り上がりました。良い雰囲気が出たところで、水鉄砲やちらし寿司などの出店がオープンしました。ちらし寿司は、とても美味しい！とご利用者の皆様から好評価をいただきました。ちなみに私は水鉄砲をかけられました。

毎年10月には「やわらぎ祭」を開催し、ご利用者やご家族の皆様にも楽しみにしていただいております。今年は、新型コロナウイルス感染症の影響から開催中止が決定となり、私たち職員にとっても大変残念な結果となりました。外食レクリエーション、みかん狩りなどご利用者の皆様に人気のある施設外の活動も難しい現状ですが、毎日笑顔で、楽しく過ごしていただけるように職員一同頑張っています。



「新米贈呈ありがとうございます!!」

今年も芸西村の子どもたちが育て収穫した貴重な新米をいただきました。今年の贈呈式は新型コロナ感染対策のため学校での集団開催を控え、やわらぎ施設長室にて行われました。



寄贈作品紹介

心温まる「書」の作品2点ご寄贈いただきました。久礼田 明伯 様(1階佐藤様のご家族)ありがとうございます。



食欲の秋



ご利用者の皆様にも少しでも「秋」を楽しんでいただこうと、11月15日2FベランダにてBBQ大会を行いました。秋刀魚や焼き芋を炭火で焼いてご提供。美味しくいただきました。



10月14日 お好み焼きパーティー



無我夢中

31

介護福祉士 伊吹友紀

私の最近のマイブームはギターを弾くことです。空いた時間に好きな曲を弾き語りして気楽に楽しんでいます。一日の中で必ず一回はギターに触っており、気付いたら何時間も経っていることもしばしばです。

学生時代は軽音楽部に所属し、バンド活動をしていました。しかし年齢を重ねるにつれ、忙しさからギターを手放してしまっていました。そんな私がギターを再開したきっかけはラジオアプリの弾き語り配信でした。その時、配信していたのは学生で、一生懸命に演奏していました。そして私は気が付いたら楽器屋に足を運んで、5万円のアコースティックギターを購入していました。

何年かぶりに触ったギター。思い通りに指は動かせず苛立ちましたが、少しずつ上達していく感覚は学生時代のことを思い出させてくれます。部屋で好きなだけギターを弾くことができていたあの頃とは違って、今は時間も場所も限られています。あの時もっと必死にやっておけばよかったな。」と想ったり、「今の自分にしか出せない音もあるな。」と感じたり、改めて音楽の奥深さと面白さを実感しています。

やわらぎ1Fの秋祭りにご利用者の前で演奏させていただきましたが、予想以上にご利用者から好評をいただきました。やはり誰かに聴いてもらうことは嬉しいもので、機会があればまた演奏させていただきたいなあなどと思っています。

仕事や子育て、その他様々なことに追われて自分のやりたいことを徐々に諦めてしまいがちですが、少しでも自分だけの楽しみを優先する時間があった方がいいのではないのでしょうか。

